

ゼミ番号	研究テーマ略称	班員	評価者	
観点 \ L v.	1	2	3	4
研究のプロセス	研究内容や方法についての理解が、表面的である ・研究対象や方法に対して深まりがない ・安易な課題を設定し、とりあえず調査を行うなどの形で研究している	研究対象や方法にやや深まりがみられる ・課題に応じた探究のサイクルで研究を行っている ・課題解決のために必要なデータ収集・調査が不十分である	研究対象や方法について、認識の深まりがみられる ・探究のサイクルを通して、論理的な研究がなされている ・課題解決のために必要なデータを収集・調査をしている	研究対象や方法について、十分な認識の深まりが見られる ・探究のサイクルを繰り返し、課題解決に厚みのあるデータを収集・調査をしている ・研究対象を多面的にとらえている
研究成果の発表	研究の方法や成果を伝えることができていない ・研究の概要を羅列している ・発表に必要な情報が含まれていない	研究の方法や成果を十分に伝えきれていない ・発表内容の構成に不備があり、研究の内容がわかりにくい ・発表に必要な情報が不足している	研究成果を効果的に伝えている ・発表に必要な情報を取捨選択して、研究の内容を説明している ・根拠を示して、適切な主張を行っている	研究成果の要点をとらえて論理的に発表している ・発表に必要な情報を精選して、分かりやすく研究内容を説明している ・根拠を示しながら、適切な考察に基づく研究成果を伝えている
コミュニケーション	聴き手への意識がなく、一方的に発表している ・音量、発声、話すスピードなど、発表を行う際の基本が十分でない ・質問を受けても、応答せずに発表を進める ・質問の意図をつかめない	聴き手への意識や質疑での対応が十分でない ・発表原稿を読み上げることが多い ・質問の意図を概ね理解しているが、適切に応答できない ・発表中に質問を受けるとペースが乱れる	聴き手の理解に配慮し、質疑でも適切な対応をしている ・概ね発表原稿に頼らずに説明している ・聴き手に応じて情報を調整している ・質問の意図を十分に理解し、適切に応答している	聴き手の意見を尊重し、双方向のコミュニケーションを成立させている ・発表者と聴き手の間で意見の交換がなされている ・聴き手の意見を受けて、研究の改善につなげている